

第5回日大ベンチャー・ビジネス・フォーラム

死海の塩で日本人を生き返らせる食塩事業

世界最古のビジネス、食塩事業を今何故設立したのか？

塩は我々人間の生活必需品である。日本たばこ産業(株)の前身は、日本専売公社であった。かつて食塩はこの公社の専売品であった。公社は塩の製造コスト削減のために、イオン交換膜法を採用した。これで海水からNaClは採れるのだが、その他のミネラルは食塩には含まれなくなってしまった。それから塩の味がまずくなった。

死海の海水は飽和食塩水である。海底には塩が堆積している。これはミネラルも多く含まれている。これを輸入して健康食塩“塩の海”を販売しているのが、トラス&カンパニーである。食塩事業で初の店頭公開を2003年に計画しているベンチャー・ビジネスである。まさに温故知新を地で行く会社である。トラス流に考えると我々の身の回りにもベンチャー・ビジネスのタネが見つかるに違いない。

- 共同主催 日本大学国際産業技術・ビジネス育成センター (NUBIC)
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科 (NBS)
- 日時 2001年4月11日(水) 15:00 17:00
- 場所 日本大学会館7階 701会議室
- 交通 会費 JR中央線、地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅 下車 靖国通 徒歩2分
1000円 当日集めます。希望者には領収書を発行致します。
- 申込方法 NUBIC事務局 FAX:03-5275-8328 または E-mail:nubic@adm.nihon-u.ac.jp
に4月9日までに、次のページの申込用紙の書式でお申込み下さい。
- コーディネーター 日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科ベンチャー・ビジネス・コース 柳下和夫教授
- 講師 (株)トラス&カンパニー 高賀 元正(こうが もとまさ)専務取締役
- 講演内容
1. 事業は人との出会いから始まる。
 2. 健康は全ての基本。
 3. 自己資本ゼロでもできる株式会社。
 4. コラボレーションの経営とは。
 5. 楽しくなければベンチャー・ビジネスではない。
 6. 現状と今後の事業展開。
- 講師紹介
- 1950年1月生まれ 國學院大学卒業後、貿易商社をへて
1971年 ソーワット(株)を設立、輸入繊維製品の販売。
1990年 植物エコロジー研究所を設立、環境負荷の少ない、人間に相応しい商品を開発中
農林水産省森林総合研究所と共同研究。木質系紫外線吸収フィルムと代替プラスチックの開発に成功。特許出願中。2001年に実用化予定。
1995年 ナチュラル・ファーム協会を設立、専務理事就任
1996年 ターななナップ(株)設立、商品本部長就任、植物系天然添加物の研究。
1998年 バイオエコロジー研究所設立、電磁波防護機器の普及推進。
2000年 トラス&カンパニー(株)を設立、専務取締役就任。
日本初の健康食塩“塩の海”を全国一斉販売。
日本人のミネラル不足の改善をし、食文化と健康に貢献。
2003年 食塩事業初の店頭公開を目指す。

第5回日大ベンチャー・ビジネス・フォーラム申込み用紙

2001年 月 日

日本大学国際産業技術・ビジネス育成センター（NUBIC）事務局 宛て

2001年4月11日（水） 15:00 17:00 第5回日大ベンチャー・ビジネス・フォーラム

「死海の塩で日本人を生き返らせる食塩事業」に参加したく申込みます。

（申し込み締切日： 4月9日(月)）

（ふりがな） 氏 名	
企業 / 団体名	
所属部署	
職位	
住所	
連絡先(上と同じ場合には、記入不要)	
電話	
F A X	
E - m a i l	

FAX:03-5275-8328 **または**
E-mail: nubic@adm.nihon-u.ac.jp